

平成23年度 城原川流域の防災に関する勉強会

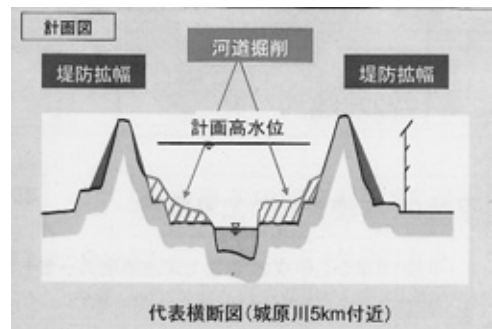
(国土交通省筑後川河川事務所より説明)

平成23年5月18日(水)午前9時～12時15分 第1委員会室

主な質疑・意見

Q 河川掘削等によって、流量 330 トンまで流れるようにするということであるが、整備が完了するのはいつか。

A 河川整備計画は向こう 30 年の計画ですが、30 年後完了すると確約できない。一般的に配分予算と合わせて災害推進費というような他の費目の予算もあり、そこも視野に入れて取り組んでいく。



城原川の河川整備計画

Q 県で整備された中地江川排水ポンプ毎秒 12 トンの稼働条件は、国土交通省に引継ぎがされているのか。協定書の取り扱いはどうなっているのか。

A 中地江川排水ポンプに限らずポンプ運用については、職員、スタッフの全員が稼働条件等を承知したうえで操作している。

Q 城原川ダムについては、近々結論を出すと同ったが、今どういう状況か。

A ダムの結論については、現在我々が持っている情報は報道機関でオープンになっているものだけである。



佐賀導水路模式図

Q 田手川と城原川では城原川が危険なのに、なぜ井柳川の水は田手川を通り越して城原川に排水されているのか。

A 当初より排水機計画がなく、県の河川改修計画等を含め 23 キロの導水ライン計画のもとに作られている。

Q 昭和 28 年水害時の城原川と現在改修されております城原川の規模は、どれ位変わったか。

A 県の改修で川幅を 3 倍にしている。その後改修を含め昭和 55 年に国土交通省に引継ぎ、城原川の整備を行っている。